

園内では生き物に関するお知らせ照会を「むしむし通信」として発行しています！

<トピック>
号外「むしむし通信」
～ビオトープって??～

※今月のクラス紹介、担任紹介はお休みです。



当園では玄関にメダカ、小魚、サンショウウオ、ウーパールーパー、カブトムシ、ザリガニなどの生き物を水槽、虫かごなどで飼育しています。

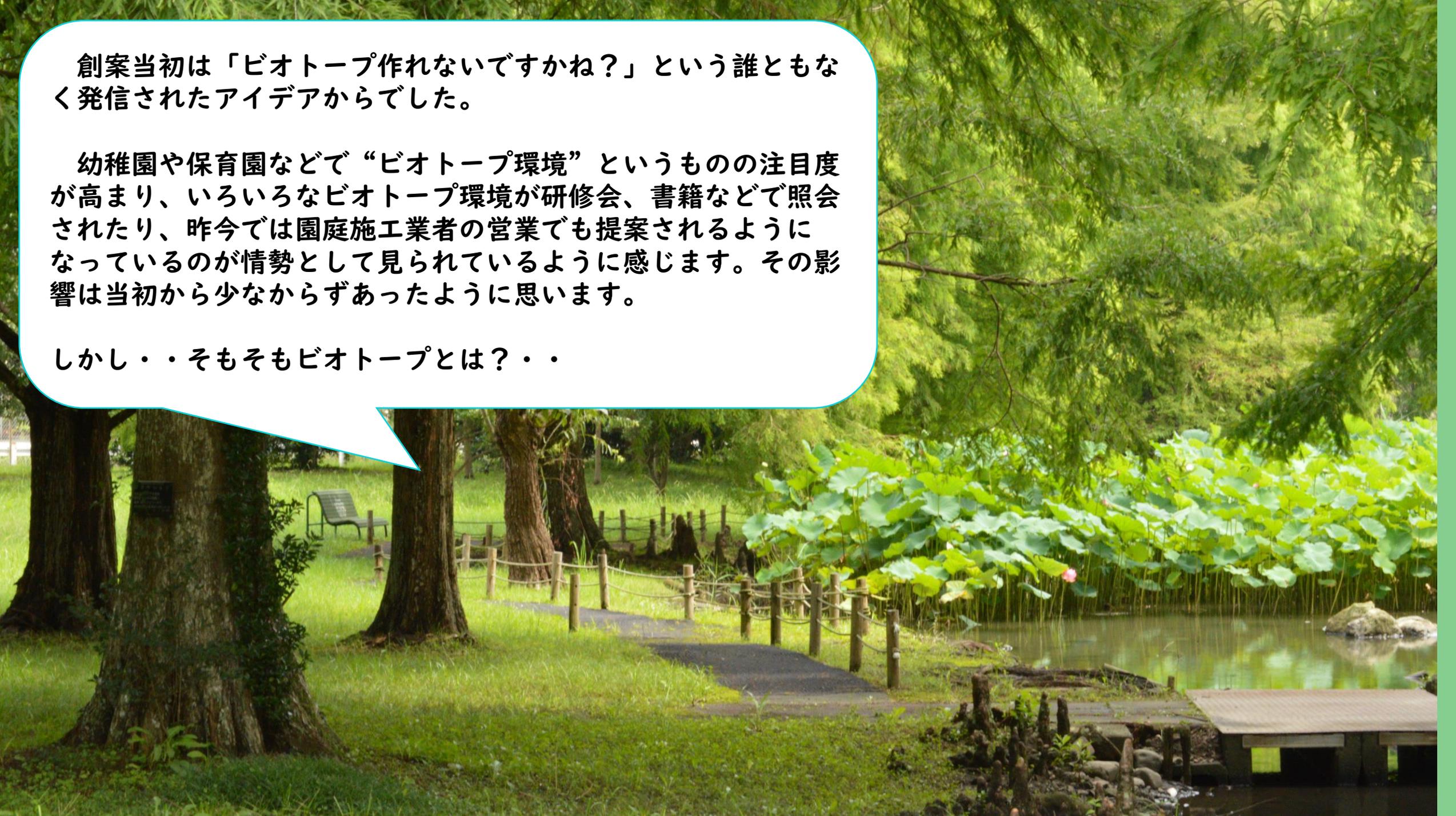
きっかけは子どもたちの興味関心ではありますが、子どもが興味関心を持っているからと言ってもなかなか園の中に環境を構築するのは難しく、課題をかかえていらっしゃるところも少なくないのではないのでしょうか？当園でも昔から子ども発信のきっかけはあるものの、なかなか生き物の飼育を継続的に行うことは難しく、場合によっては生き物を粗末にしてしまうような事も・・・

そんな中当園の飼育担当保育者は、もともと対象となる生き物が大好きで、プライベートでも飼育しており、園の飼育環境もその保育者発信で少しずつ環境を整えていきました。

創案当初は「ビオトープ作れないですかね？」という誰ともなく発信されたアイデアからでした。

幼稚園や保育園などで“ビオトープ環境”というものの注目度が高まり、いろいろなビオトープ環境が研修会、書籍などで照会されたり、昨今では園庭施工業者の営業でも提案されるようになってきているのが情勢として見られているように感じます。その影響は当初から少なからずあったように思います。

しかし・・・そもそもビオトープとは？・・・



ビオトープとは「bio（命）」と「tops（場所）」という言葉の造語です。

自然環境破壊から生態系保全を意識した環境づくりが進められたことが始まりとされています。

ビオトープという言葉が広まり、現代での解釈の仕方（筆者）は以下の図のようにとらえています。

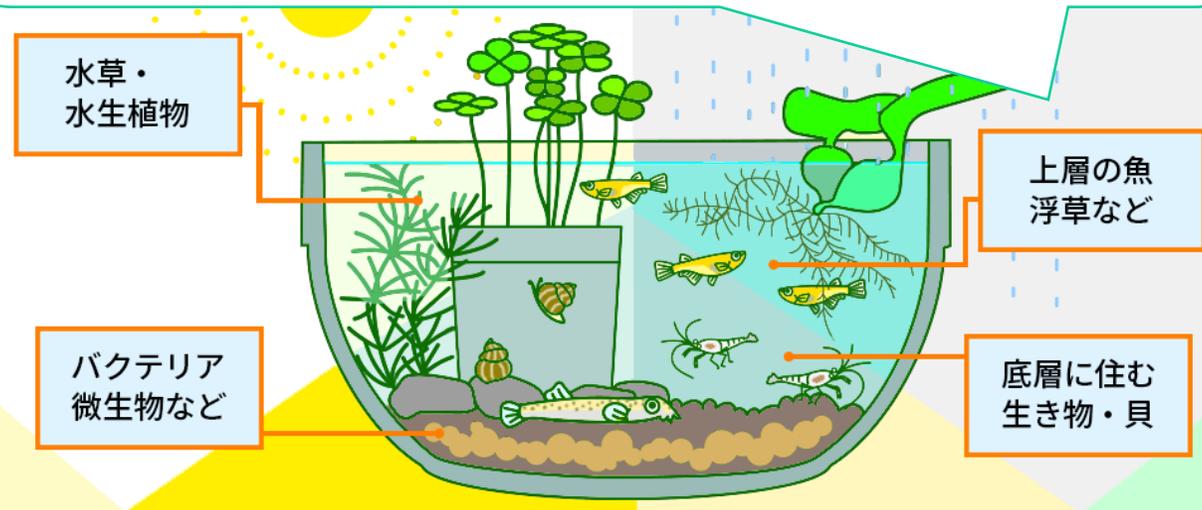
人間の環境を考慮しない社会による環境破壊は人間社会そのものの持続不可能性につながるという事実直面。

人間社会はもとより、生態系を含む多種多様な生物の共生による持続可能な生態構造を意図して環境を作る。

生態が循環し持続可能な環境構築の考え方を広く、そして価値観として育むために生き物、植物などを人間の生活環境に取り入れ身近に親しんでいく。

現代ではビオトープは本来的な生態循環、共生というより、生き物や自然に慣れ親しむという意味に代わってきている印象です。その上で園生活の中で“ビオトープ”の取り組みをあらためて考えると、考えさせられるものがあります。

冒頭園庭施工業者によるビオトープ環境の営業もあると申しましたが、確かに環境として魅力的ではありますが、その効果の範囲は本来的な生態の循環ではありえず、あくまで人工的な疑似自然環境でしかありません。



日光浴で生態系ができあがる！

雨が降っても平気！



疑似的な自然環境という意味ではプランターでの野菜栽培や虫かごでの虫の飼育と大きく変わりません。

誤解のないように加えると、園庭のビオトープ施工を否定するわけではありません。もちろん魅力的ではありますが、その中で疑似とは言え、自然に触れ、走り回る子ども姿は美しくありますが、ビオトープの考え方を大切にするのであれば、その中で“自然をどう扱うか”が大切なように思います。



どんなに魅力的な構造的環境でも、自然な循環システムでない以上、人の手で適切に管理されなければ効果は発揮されません。園内のビオトープ環境然り、手入れがされているか、生き物が狭いながらもその中で最大限健康で過ごさせているか、生き物にとって天使にも悪魔にもなり得る子どもの生き物との接し方をどう教育していくかなどを意識し、意図した実践をできる大人の存在が構造的環境以上にビオトープにとって必要不可欠な要素でないかと思えます。

生き物たちの世話や環境を作っている先生にインタビュー！

坂本 皓紀先生



生き物を園で飼育するうえで大切にしていることや心掛けていることについて教えてくださいいただけますか？

一番心掛けているのは子どもたちが観察しやすいように、生き物もストレスを感じないように、隠れ家を用意するなど、お互いのいいとこどりができるようにします。

あえて完璧にしない。今後の余地を残して、子どもたちあれしたらいいんじゃない、これしたらいいんじゃないなどアイデアをだせる余白を残しています。

生き物の種類にはよりますが、子どもたちに名前を覚えてもらったり、餌をあげてもらったりしながら愛着を持てるように心がけています。

準絶滅危惧種(たまたま発見!)の生き物が仲間入りすることもあります。動物園やペットショップでは見られないような生き物をたくさん観察してもらいたいです。

意外と身近なところにも将来見れなくなってしまう生き物も隠れていることが分かります。

畑にレモンの木やえだまめ、苺など植えています。現在はジャングル化していますが、お時間あるときは親子で見てもらったり、触れてもらえると嬉しいです！

